

令和元年6月3日

洋友会四国地区 高知ブロック

新井 千壘

## 思い出を振り返って

退職して早くも(再雇用含めて)15年が過ぎました。

改めて年月の流れの速さに……………

趣味らしい趣味も無いのですが、強いて上げればSLの写真撮影です。

伯備線、呉線、播但線、日豊本線、特に筑豊本線はC55、C57他形式  
など、本数が多く退屈しませんでした。また、伯備線のD51通称デコイ

チの三重連は全国でも有名で多数の方が撮影に来ました。当時すでにSL全盛期の4割程度の2、  
300両ほどが稼働していました。

特に四国地区は無煙化のスピードが早く僅か20両程度までに減少、客車牽引は僅か2線区、そ  
れも朝夕の通勤列車程度、それでも単車で先回り、そして追っかけて何枚か撮影できました。更  
に当時の国鉄多度津工場でSLのC58型121号機の定期点検を見ることができましたが、片  
方の留置線では高知駅構内で多年入れ替え作業していた大正生まれの機関車、8620型(通称  
ハチロク)既に主連棒、ナンバープレートを外されて全身赤錆だらけで解体待ちの姿、SLファン  
としてはたまりませんでした。

時代の流れとは言え全盛期には5968両が全線にわたり走破していましたが今は静岡大井川鉄  
道のC11、C56型の小型機関車が旧型客車牽引で走行しているのは、私には嬉しい限りです。





旧駅舎高松駅にて



阿波池田町付近

私の住んでいる現在の高知市大津関地区は以前は長岡郡大津村でした。その関係で農業の方もおられます。地区のまとまりも比較的良く、行事も多いです。生き生き体操、講演会等、また地区運動会、地元神社の子供御神輿、荒神様のお祭りもあります。私も約10年間担当しました。いやなことも有りましたが、色々な方と知り合いになり良かったと思います。特に神社の総代担当時、神事の段取り、お旅所、幟建、高知東警察署に道路使用の許可他交通警備申請等、何分知らないことばかりで苦勞しました。

今は防災の担当で南海地震対策と訓練、勉強会と荒神様の係をしていますが、体が動く限り、続けようと思います。



古城八幡様の秋祭りの様子

最後になりますが私は、生まれた故郷を訪ねたことがあります。私は地元高知生まれと思っ  
ていましたが、私が高校3年生になり就職活動中に戸籍謄本により函館市生まれで有ることを知り  
ました。それから数年後、弟が青森市に転勤になったのを機に、連絡をとり函館空港を待ち合わせ  
場所にして、早々に函館市役所に戸籍謄本を持参して戦前と現在の地図のコピーをもらい照合し  
生まれたところが判明しました。

早速現場に行き納得。今は駐車場になっていますが永年の夢がかないました。そして当時父親が  
勤務していたと思われる会社の写真をとりました。その晩は夜景を楽しみ、翌日は有名な朝市で  
地元の魚と特にイカの刺し身は最高でした。その後市内観光と五稜郭公園、函館戦争の資料を見  
学してから青函トンネルで弟の居住である青森市に行きました。



私の生まれた函館の夜景